

みたちっ子だより

校長 中路 知恵



みつけよう夢を たすけあおう友と ちからあわせて やる気いっぱい まだまだのびる

運動会

私が教員かけだしのころの運動会といえば、それはそれは大イベントで、地域の大人も腕まくりして臨んでいたことを覚えています。保護者が参加する競技はもちろんのこと、地域の敬老の方が参加する競技があったり、全員参加型の競技があったり、親子競技があったり……。地域ごとに子供たちの名前を記したのぼりがたてられたときもありました。子供が主役の運動会ですが、一方で地域の大人をつなぐ大切な行事の色合いもあったように感じます。私も地域の方々の仲間に入れていただき、運動会での子供たちの頑張りを肴に、おいしい一杯をいただいたことも懐かしい思い出です。

時代は流れ、今の運動会は少しコンパクトになりました。昔のように、様々な方が参加する運動会から、より一人一人の子供に光を当てたものになってきました。教育活動の一環としての昨今の運動会。昔と比べると若干、物足りないなど感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、運動会を通して子供たちは多くの学びを得ています。集団行動を通じた「社会性」や「協調性」の育成、思い通りにいかない困難な局面を乗り越える「精神力」の向上など、感情を揺さぶられながら学ぶ場が運動会です。

ぜひ、みたちっ子の全力を温かい声援で包み、頑張りへの価値付けをお願いしたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、勝っても負けてもその子らしく輝く姿に、盛大な拍手を送っていただけると幸いです。

もう小学生だから・・・

すべての子どもは生まれながらに「触れてほしい、抱っこしてほしい」という欲求をもっているそうです。愛情ある抱っこで応えてあげると、子どもは安心し、自分が大切な価値ある存在であると思えるようになり、抱っこしてくれる親や大人に信頼を寄せていきます。この心の根っこにある安心感や自己有用感が、子どもが成長して人間関係を築く上でも大切なことだと思います。

「もうあなたは小学生だから、一人で・・・」と、ある時期すばっと触れ合うことを断つのではなく、時にはぎゅっと抱きしめて「大好き」と声をかけてあげてください。高学年になると、「もうやめてよ」と振り払おうとする子どももいるかもしれませんが、心の中はきっと、やわらかいスポンジのように愛情をいっぱい吸い取っていると思います。



「大切にされているという実感の積み重ねが、自分も人も大切にすることができる子どもを育てる」と信じて、御館山小学校職員もすべての子どもたちに愛情を注ぎ続けます。

【「子育て相談」のご案内】

子供が全然いうことを聞いてくれない、反抗期の接し方に悩む、子供はかわいいけれど、時に思い通りにいかないなど、子育てに悩んでいませんか。臨床心理士をはじめとする相談員が話をお聞きます。

日時 毎月第3木曜日 (①10:00～ ②11:00～) 各50分/2枠

場所 すくすく広場 母子保健ルーム (アエルウエスト2階)

予約・問い合わせ先：諫早市子育て支援課 (こども家庭センター) 0957-22-2374

↑ 詳しくは、直接、子育て支援課にお電話いただきお尋ねください。